

KEW Windows for KEW5050

かんたんスタートナビ

KEW Windows for KEW5050を起動する

次のページ

データを解析する

KEW5050に記録されているデータを解析する	P.6
PCに取り込んだ記録データを解析する	P.9
ロギングデータを解析する	P.11

記録データをPCへ保存する

SDカード内の記録データを取り込む	P.22
カードリーダーを使用して記録データを取り込む	P.24

本体設定を行う

KEW6315設定データを作成する	P.28
KEW6315から設定データを読み出す	P.31
KEW6315へ設定データを反映する	P.33

その他の機能

PDF形式で出力する	P.34
------------	------

環境設定について

KEW Windows for KEW5050の動作設定を変更する	P.35
-----------------------------------	------

こまったとき

P.39

KEW Windows for KEW5050を起動する

使用環境について

システム条件

- ・CPU:Pentium 4 1.6GHz以上のPentiumプロセッサ
- ・メモリ:1Gbyte以上
- ・対応OS:WindowsのOSはCDケースのバージョンラベルを参照してください。
- ・ハードディスク空き容量:1GB以上(.NET Framework再頒可能パッケージ用の容量も含む)
- ・CDまたはDVDドライブ:インストールに必要
- ・ディスプレイ:1,024×768以上の解像度、65536色以上

推奨条件

- ・2GHz以上のPentiumプロセッサ

KEW Windows for KEW5050を起動する(つづき)

PCにKEW5050本体を接続しない場合

【データを解析する ⇒P.6】

を行うことができます

STEP 1

KEW Windowsを起動する

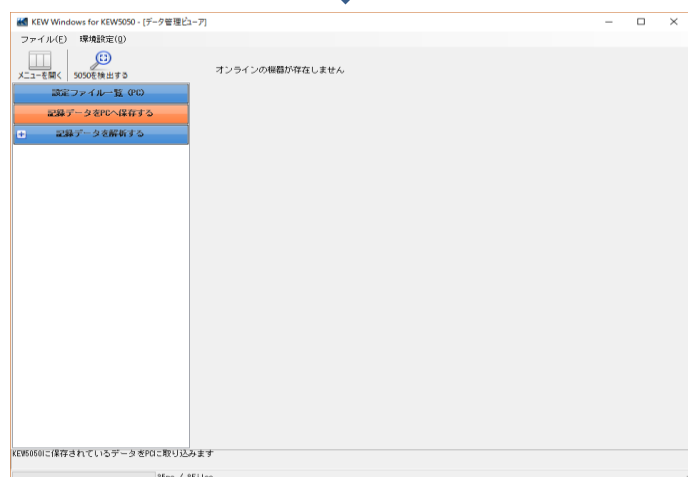
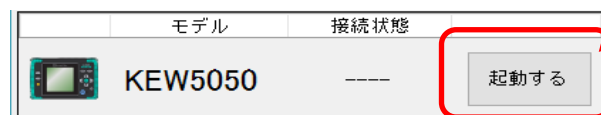
- 1 デスクトップのショートカットをダブルクリックする。
または、スタート→すべてのプログラム→KEW→KEW WindowsV2を選択する。



STEP 2

KEW Windows for KEW5050を起動する

- 1 モデルKEW5050の[起動する]をクリックする。



KEW Windows for KEW5050を起動する(つづき)

PCにKEW5050本体を接続する場合

【データを解析する ⇒P.6】

【記録データをPCへ保存する ⇒P.22】

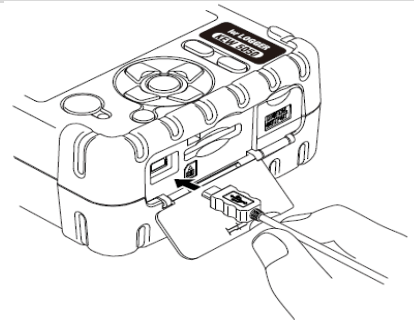
【本体設定を行う ⇒P.28】

を行うことができます。

STEP 1

KEW5050を接続する

- 1 KEW5050をPCとUSBで接続する。



- 2 KEW5050の電源を入れる。

STEP 2

KEW Windowsを起動する

- 1 デスクトップのショートカットをダブルクリックする。
または、スタート→すべてのプログラム→KEW→KEW WindowsV2を選択する。

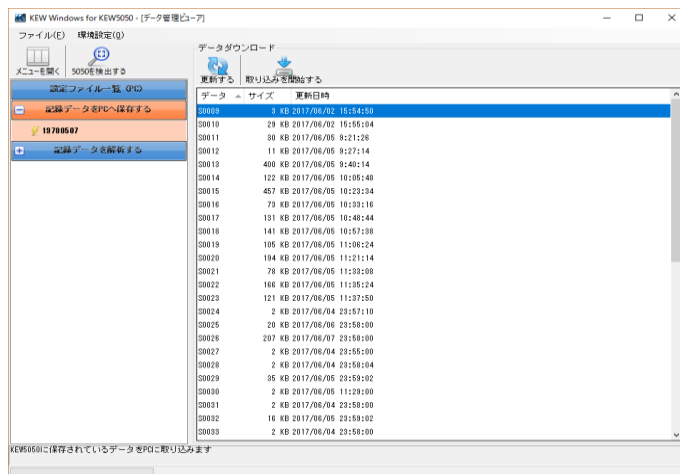
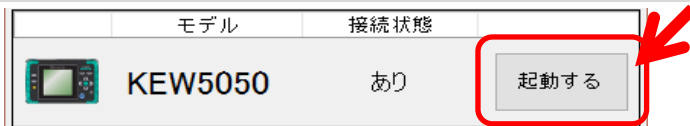


KEW Windows for KEW5050を起動する(つづき)

STEP 3

KEW Windows for KEW5050を起動する

1 モデルKEW5050の[起動する]をクリックします。



KEW5050をPCに接続しているのに、接続状態の欄に“あり”が表示されていない場合は、[再検出する]をクリックしてください。

[再検出する]をクリックしても“あり”が表示されない場合は、“こまったとき”を参照ください。

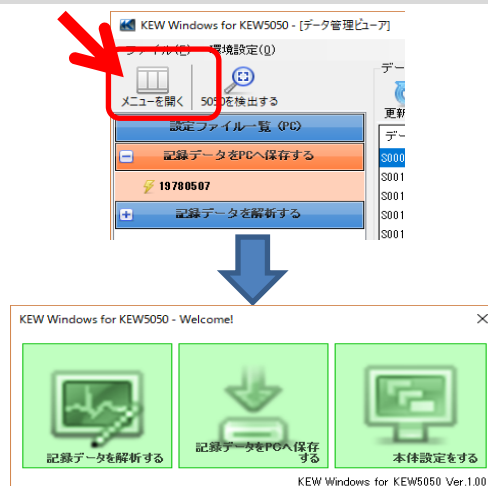
データを解析する

KEW5050に記録されているデータを解析する

STEP 1

メニューを開く

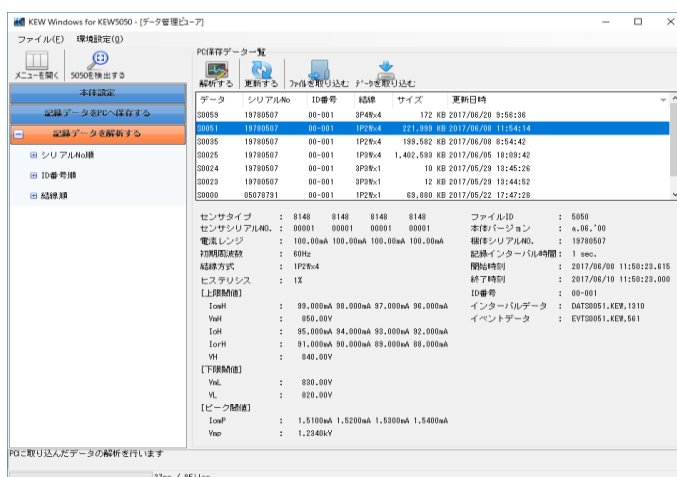
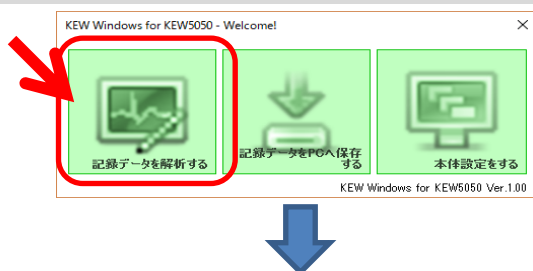
- 1 データ管理ビューアの[メニューを開く]をクリックする



STEP 2

PC保存データ一覧を表示する

- 1 [記録データを解析する]をクリックする

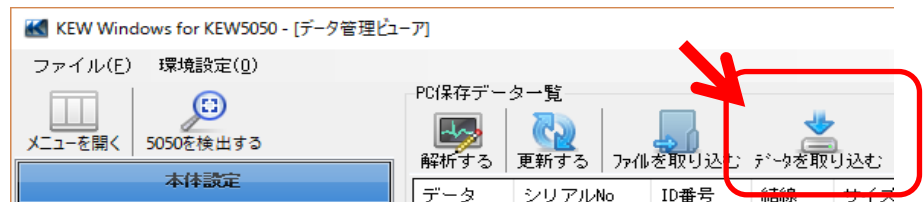


データを解析する(つづき)

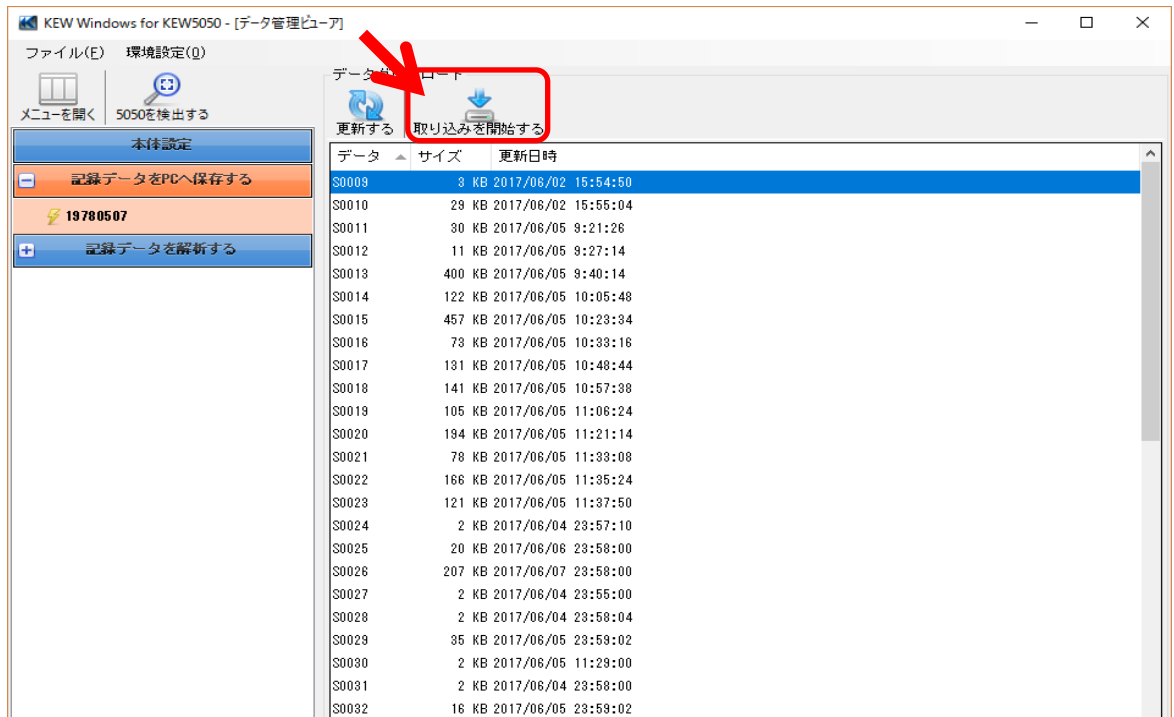
STEP 3

KEW5050内の記録データを開く

1 [データを取り込む]をクリックする

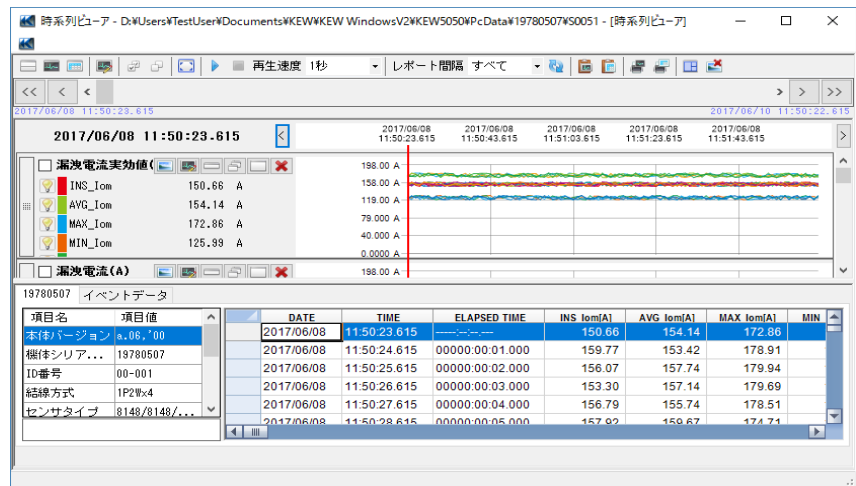
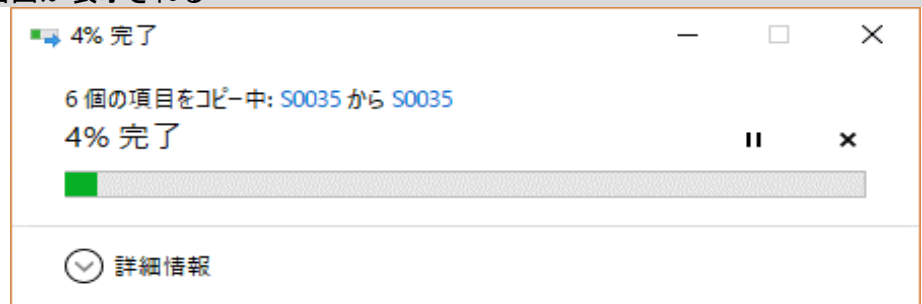


2 解析対象となる記録データを選択して、[取り込みを開始する]をクリックする



データを解析する(つづき)

3 PCへ取り込み後、解析画面が表示される



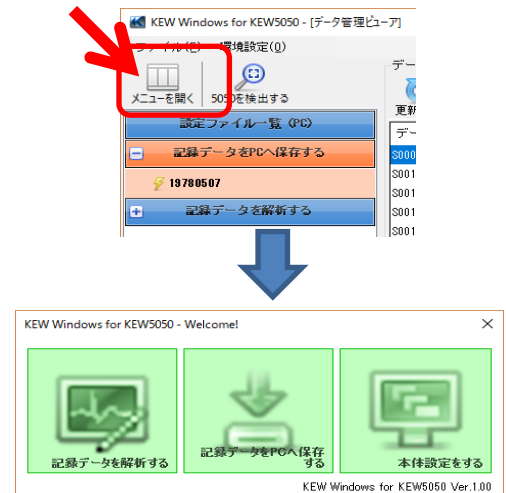
データを解析する(つづき)

PCに取り込んだ記録データを解析する

STEP 1

メニューを開く

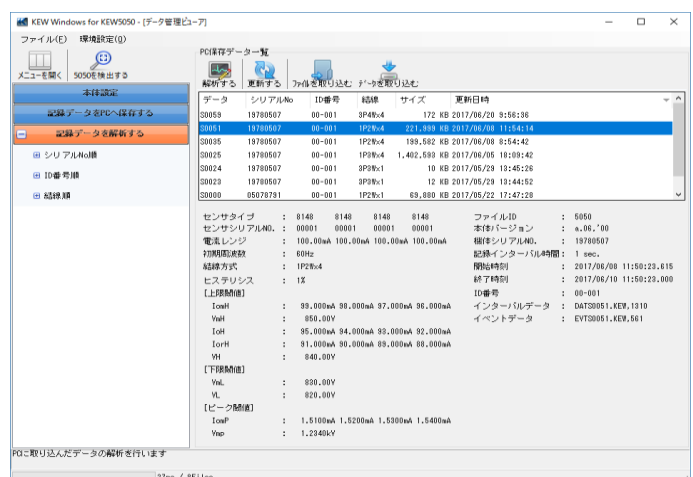
- 1 データ管理ビューアの[メニューを開く]をクリックする



STEP 2

PC保存データ一覧を表示する

- 1 [記録データを解析する]をクリックする



データを解析する(つづき)

2 [データ解析]をクリックする

KEW Windows for KEW5050 - [データ管理ビューア]

ファイル(E) 環境設定(O)

メニューを開く 5050を検出する

PC保存データ一覧

解析する 更新する ファイルを取り込む データを取り込む

本体設定

データ シリアルNo ID番号 結線 サイズ

↓

時系列ビューア - D:\Users\TestUser\Documents\KEW\KEW Windows\2\KEW5050\PCData\19780507\50051 - [時系列ビューア]

再生速度 1秒 レポート期間 すべて

2017/06/08 11:50:23.615

2017/06/08 11:50:23.615 2017/06/08 11:50:43.615 2017/06/08 11:51:03.615 2017/06/08 11:51:23.615 2017/06/08 11:51:43.615

2017/06/08 11:50:23.615

漏洩電流実効値(I)

INS_Iom 150.66 A

AVG_Iom 154.14 A

MAX_Iom 172.86 A

MIN_Iom 125.99 A

漏洩電流(A)

198.00 A

19780507 イベントデータ

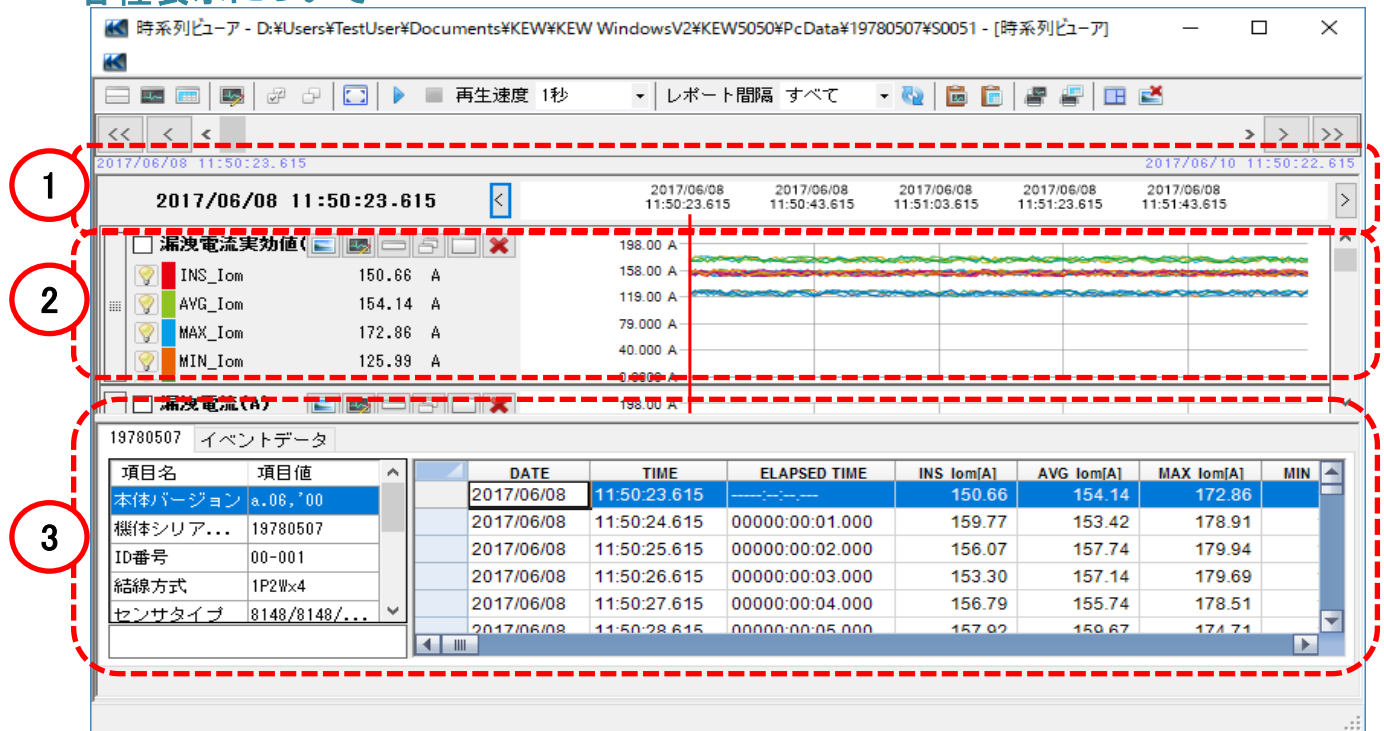
項目名	項目値	DATE	TIME	ELAPSED TIME	INS Iom[A]	AVG Iom[A]	MAX Iom[A]	MIN
本体バージョン	v.06.'00	2017/06/08	11:50:23.615	000000:00:01.000	150.66	154.14	172.86	
機体シリアル...	19780507	2017/06/08	11:50:24.615	000000:00:02.000	159.77	153.42	178.91	
ID番号	00-001	2017/06/08	11:50:25.615	000000:00:03.000	156.07	157.74	179.94	
結線方式	1P2Wx4	2017/06/08	11:50:26.615	000000:00:04.000	153.30	157.14	179.69	
センサタイプ	8148/8148/...	2017/06/08	11:50:27.615	000000:00:05.000	156.79	155.74	178.51	
		2017/06/08	11:50:28.615	000000:00:06.000	157.92	159.67	174.71	

データを解析する(つづき)

ロギングデータを解析する

STEP 1

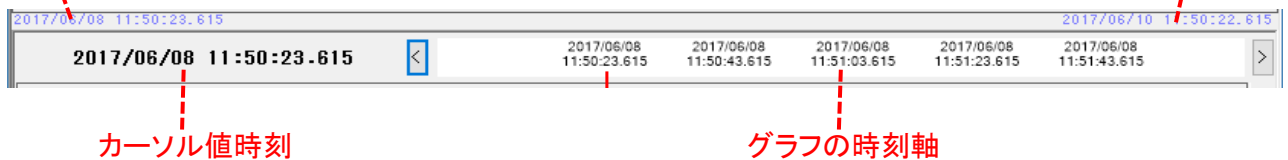
各種表示について



1 記録時刻

先頭データの記録時刻

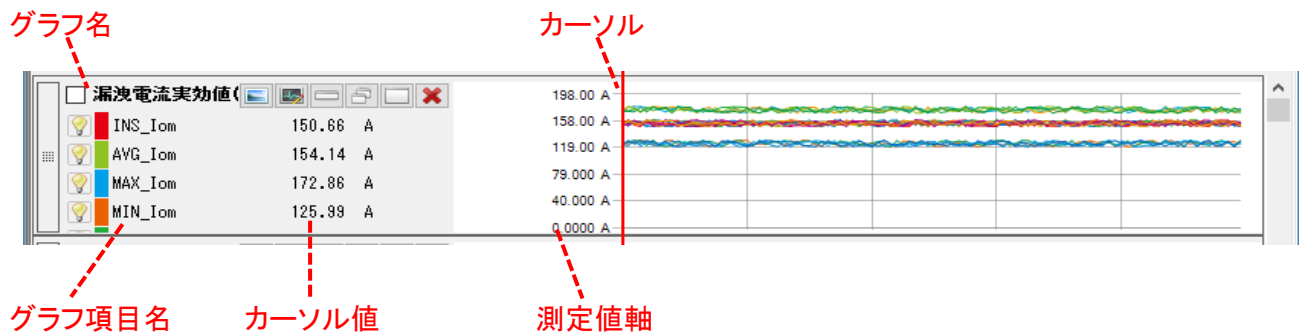
末尾データの記録時刻



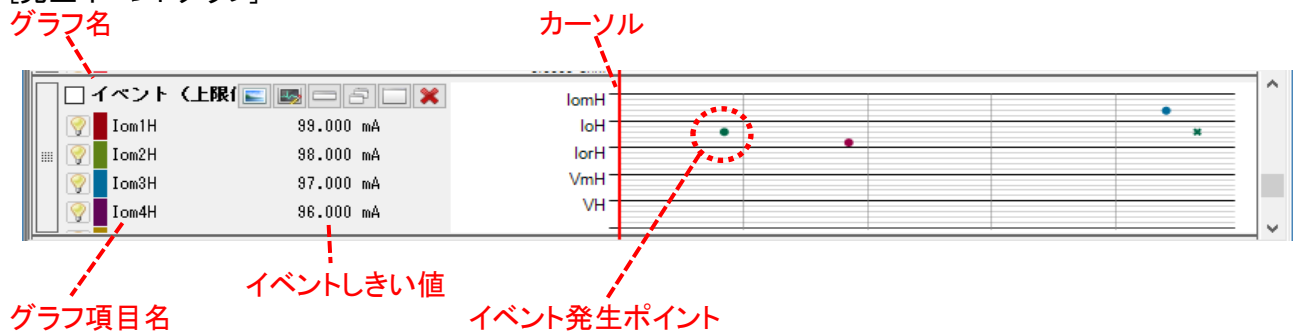
データを解析する(つづき)

2 グラフ

[時系列グラフ]



[発生イベントグラフ]



3 リスト

[時系列リスト]

KEW5050の[シリアルNo.]タブを選択する

19780507 イベントデータ

項目名	項目値	DATE	TIME	ELAPSED TIME	INS Iom[A]	AVG Iom[A]	MAX Iom[A]	MIN
本体バージョン	a.08.00	2017/06/08	11:50:23.615	---	150.66	154.14	172.86	
機体シリア...	19780507	2017/06/08	11:50:24.615	00000:00:01.000	159.77	153.42	178.91	
ID番号	00-001	2017/06/08	11:50:25.615	00000:00:02.000	156.07	157.74	179.94	
結線方式	1P2Wx4	2017/06/08	11:50:26.615	00000:00:03.000	153.30	157.14	179.69	
センサタイプ	8148/8148/...	2017/06/08	11:50:27.615	00000:00:04.000	156.79	155.74	178.51	
		2017/06/08	11:50:28.615	00000:00:05.000	157.92	159.67	174.71	

測定情報

時系列リスト

[発生イベントリスト]

[イベントデータ]タブを選択する

19780507 イベントデータ

項目名	項目値	DATE	TIME	ELAPSED TIME	EVENT TITLE	EVENT S
イベント上限回数		2017/06/08	11:50:40.015	00000:00:16.400	上限・漏洩電流 (A)2ch	開始
漏洩電流実効値	1回	2017/06/08	11:51:00.615	00000:00:37.000	上限・漏洩電流 (A)4ch	開始
基準電圧実効値	3回	2017/06/08	11:51:51.015	00000:01:27.400	上限・漏洩電流実効値 (A)3ch	開始
漏洩電流	0回	2017/06/08	11:51:56.615	00000:01:33.000	上限・漏洩電流 (A)2ch	終了
対地抵抗成分漏洩電流	0回	2017/06/08	11:52:00.215	00000:01:36.600	ピーク・漏洩電流実効値 (A)4ch	開始
基準電圧	0回					
イベント下限回数						

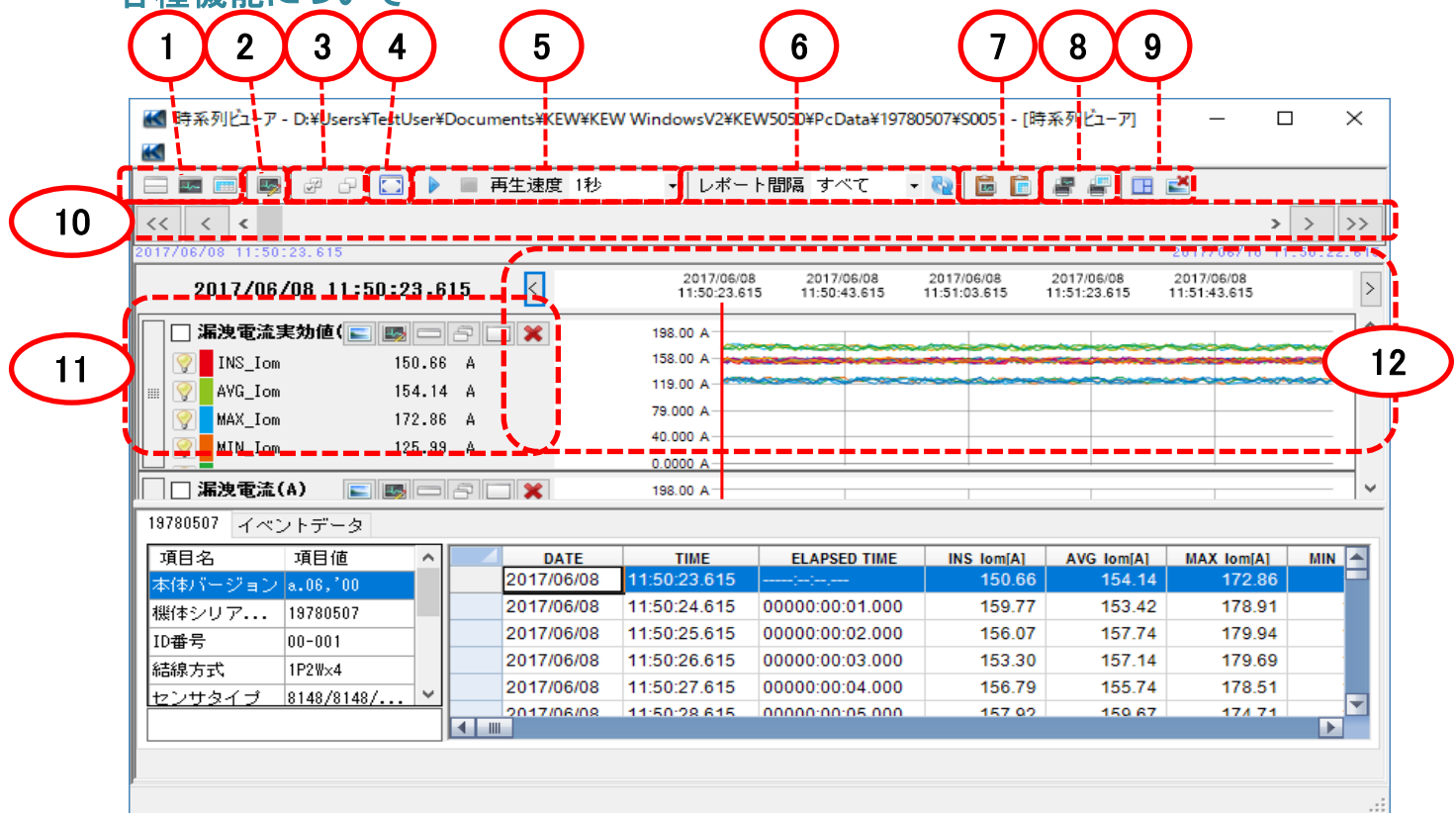
イベント発生回数

発生イベントリスト

データを解析する(つづき)

STEP 2

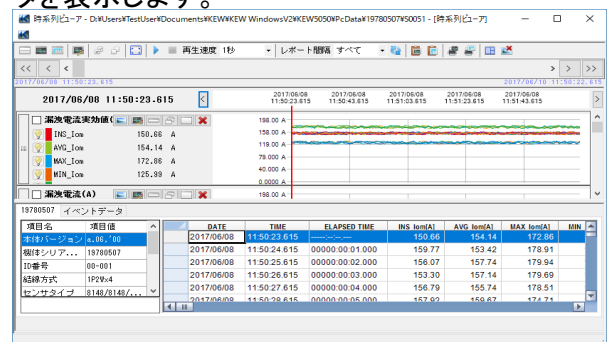
各種機能について




1 表示レイアウトを変更する

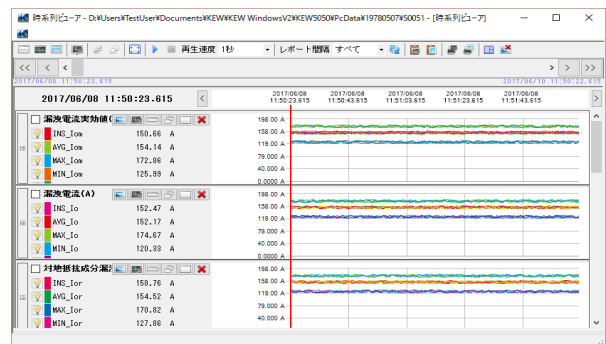
☒ グラフとリストを同時に表示する


ビューア上部に時系列グラフ、下部にリストデータを表示します。



データを解析する(つづき)


 **グラフのみを表示する**
ビューア全体に時系列グラフを表示します。



 **リストのみを表示する**
ビューア全体にリストデータを表示します。

項目名	項目値	DATE	TIME	ELAPSED TIME	INS_Iom[A]	AVG_Iom[A]	MAX_Iom[A]	MIN_Iom[A]
19780587	19780587	2017/06/08	11:50:24.615	00:00:00.01.000	150.77	153.42	173.91	173.91
19780588	19780588	2017/06/08	11:50:25.615	00:00:00.02.000	150.07	157.74	179.94	179.94
19780589	19780589	2017/06/08	11:50:26.615	00:00:00.03.000	153.30	157.14	179.69	179.69
19780590	19780590	2017/06/08	11:50:27.615	00:00:00.04.000	156.79	155.74	178.51	178.51
19780591	19780591	2017/06/08	11:50:28.615	00:00:00.05.000	157.92	159.67	174.71	174.71
19780592	19780592	2017/06/08	11:50:29.615	00:00:00.06.000	152.09	152.75	175.71	175.71
19780593	19780593	2017/06/08	11:50:30.615	00:00:00.07.000	159.29	150.75	171.83	171.83
19780594	19780594	2017/06/08	11:50:31.615	00:00:00.08.000	158.37	151.44	176.64	176.64
19780595	19780595	2017/06/08	11:50:32.615	00:00:00.09.000	159.13	155.44	179.96	179.96
19780596	19780596	2017/06/08	11:50:33.615	00:00:00.10.000	151.13	159.03	175.21	175.21
19780597	19780597	2017/06/08	11:50:34.615	00:00:00.11.000	151.87	158.54	173.84	173.84
19780598	19780598	2017/06/08	11:50:35.615	00:00:00.12.000	151.89	153.06	174.82	174.82
19780599	19780599	2017/06/08	11:50:36.615	00:00:00.13.000	154.44	152.28	171.54	171.54
19780600	19780600	2017/06/08	11:50:37.615	00:00:00.14.000	153.00	154.39	175.00	175.00

2 表示するグラフを変更する

 **表示するグラフを変更する**
グラフに表示する測定データを選択します。



グラフ項目のみの表示/非表示
グラフ自体の表示/非表示

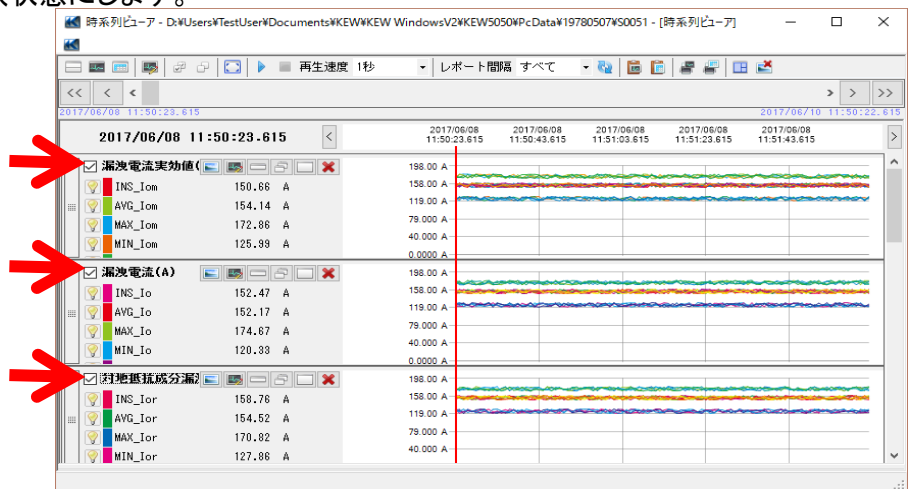
項目リスト上を右クリックすると、一括して選択、および選択解除できます。

AVG_V1[V]	
AVG_V2[V]	
AVG_V3[V]	
MAX_V1[V]	
MAX_V2[V]	
MAX_V3[V]	

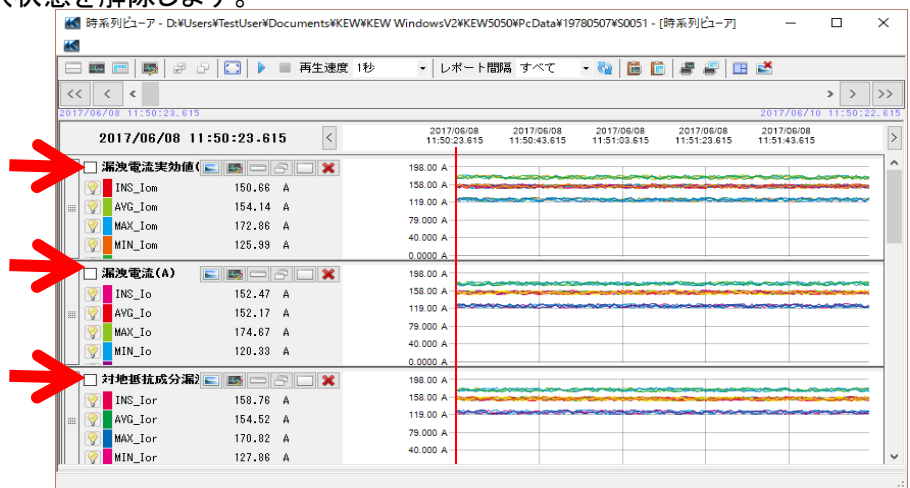
データを解析する(つづき)

3 グラフの選択/選択解除をする

- ☑ **すべてのグラフを選択する**
すべてのグラフを選択状態にします。



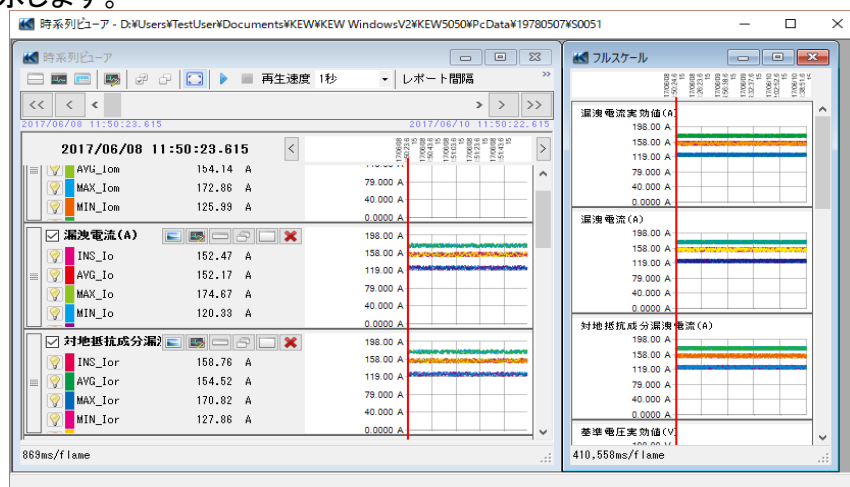
- ☐ **すべてのグラフ選択を解除する**
すべてのグラフの選択状態を解除します。



データを解析する(つづき)

4 フルスケール表示を行う

- フルスケール表示を行う
全記録期間のグラフを表示します。



※ 記録データサイズの大きさによっては、フルスケールデータの生成に時間がかかる場合があります。

5 自動スクロール再生を行う

- 自動スクロール再生を開始する
- 自動スクロール再生を停止する

再生速度 1秒

自動スクロール再生の速度を変更する
指定した再生速度の間隔で、自動的に測定値カーソルを移動します。

6 レポート間隔を変更する

レポート間隔 1分毎

レポート間隔を変更する

表示データのインターバルを疑似的に変更することができます。
例)

“1秒”インターバルで記録したデータのレポート間隔を“1分毎”に変更した場合

実際記録データ
経過時間
0000:00:01
0000:00:02
0000:00:03

0000:60:00
全3600データ

レポート間隔変更後の表示データ
経過時間
0000:01:00
0000:02:00
0000:03:00

0000:60:00
全60データ

データを解析する(つづき)

7 クリップボードへコピーする

グラフをコピーする

表示しているすべての時系列グラフを、画像としてクリップボードへコピーします。

リストをコピーする

選択範囲内のリストデータを、項目ヘッダを付加してタブ区切りのテキストデータとしてクリップボードへコピーします。

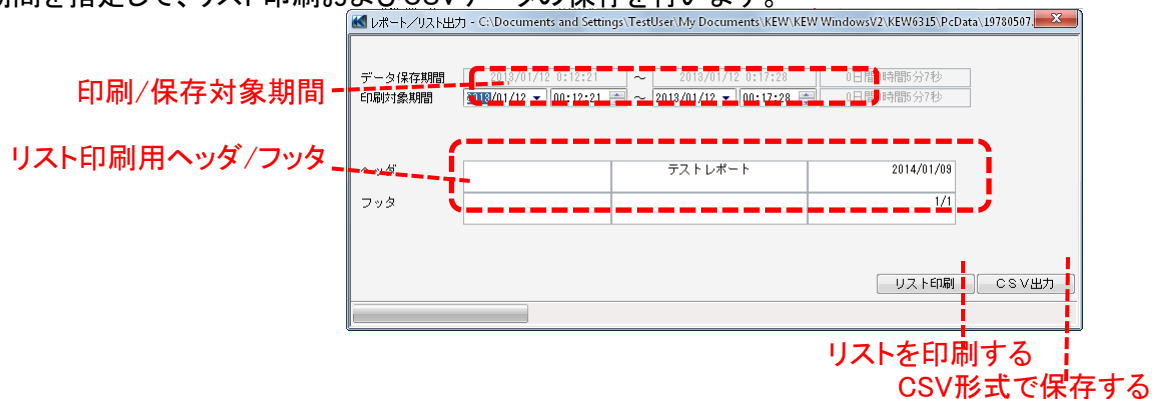
8 印刷する

グラフを印刷する

表示しているすべての時系列グラフを印刷します。

リストを印刷する

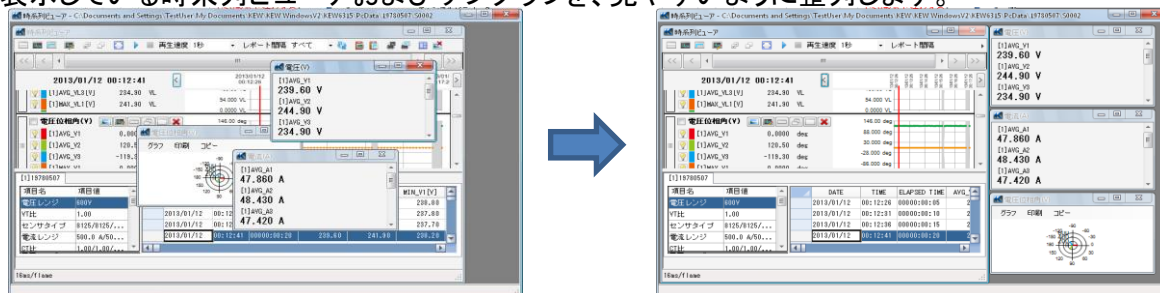
対象期間を指定して、リスト印刷およびCSVデータの保存を行います。



9 サブグラフを整理する

サブグラフを整理する

表示している時系列ビューアおよびサブグラフを、見やすいように整理します。



サブグラフをすべて閉じる

表示しているサブグラフをすべて閉じます。

データを解析する(つづき)

10 グラフをスクロールする

任意の位置へスクロールする



1/2画面分スクロールする

1/4画面分スクロールする

11 グラフの表示方法を変更する

サブグラフを表示する

表示するグラフ項目を選択する

グラフを最小化する

グラフを元のサイズに戻す

グラフを最大化する

グラフを閉じる

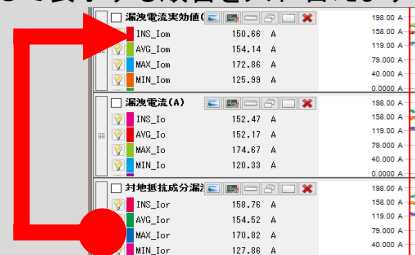
選択されているグラフに対して適用されます



グラフの表示順を変更する



グラフの左端をマウスでドラッグして表示する順番を入れ替えます。



グラフ項目を一時的に非表示にする



表示
 非表示

グラフ項目色を一時的に変更する

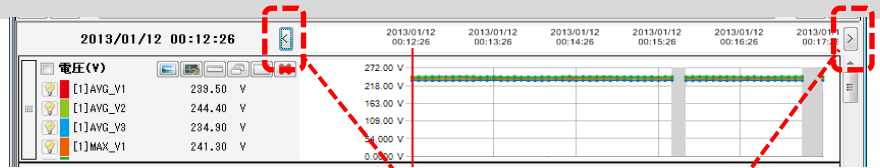


グラフ項目の色部分をクリックすると、「色の設定」ダイアログボックスを表示します。



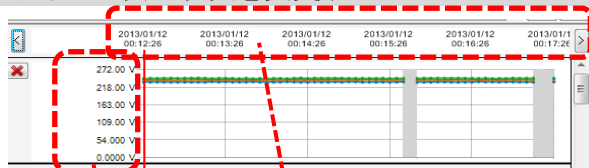
データを解析する(つづき)

12 カーソルを移動する

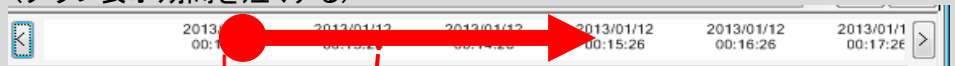


1インターバル分だけカーソルを移動する

13 グラフの表示範囲を変更する



時刻軸について拡大する
(グラフ表示期間を短くする)



時刻目盛上を左クリックしたままで、右に動かす

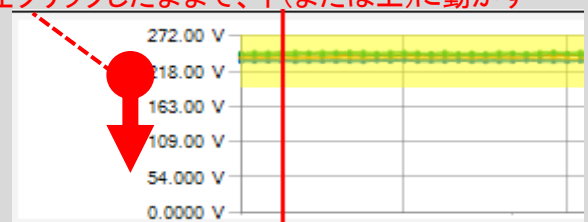
時刻軸について縮小する
(グラフ表示期間を長くする)



時刻目盛上を左クリックしたままで、左に動かす

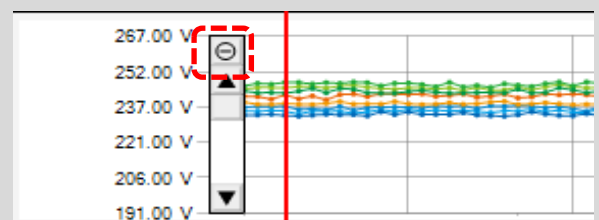
測定値軸について拡大する

測定値目盛上を左クリックしたままで、下(または上)に動かす



※黄色の範囲が拡大されます

測定値軸の拡大を元に戻す



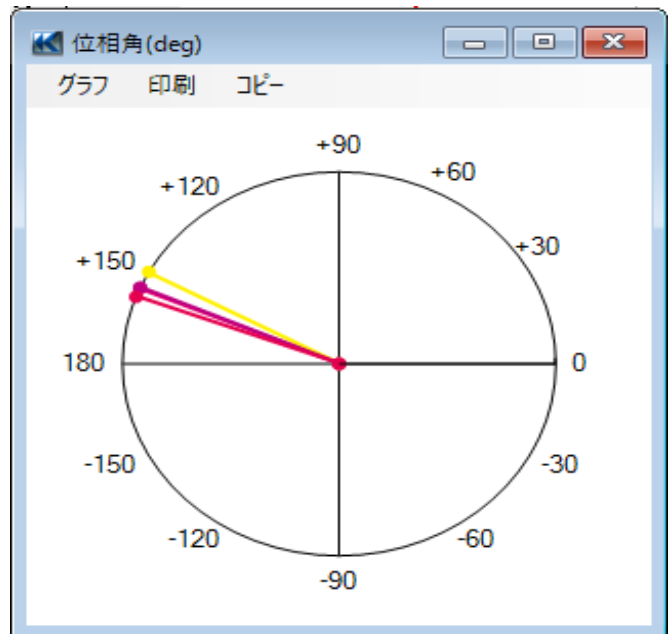
データを解析する(つづき)

STEP 3

サブグラフ表示について

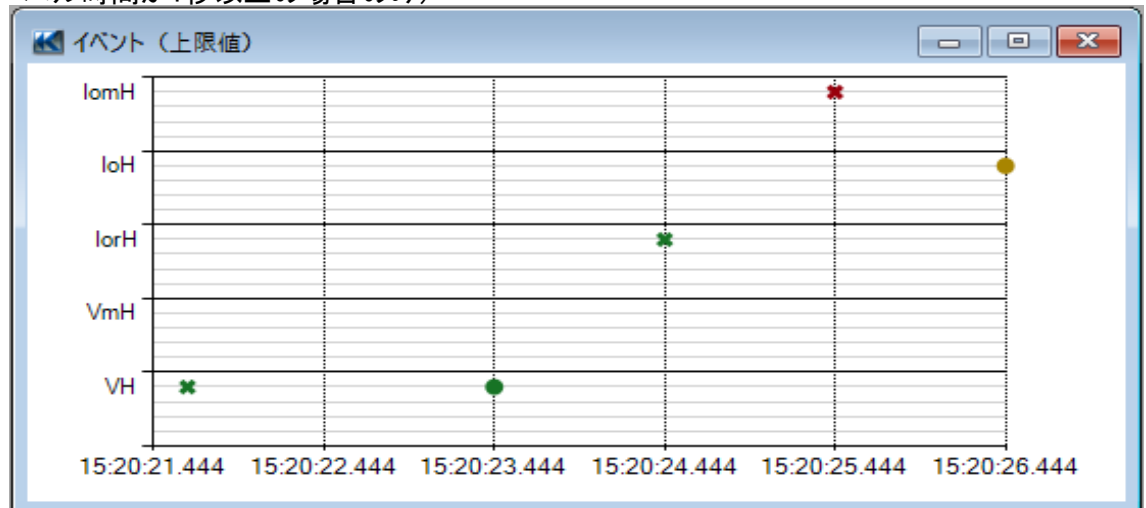
1 ベクトル表示

カーソルの位置する時点の位相角をベクトル図で表示します。
(漏洩電流位相角のみ)



2 イベント詳細

カーソルの位置する時点のインターバル内で発生したイベントの詳細を表示します。
(インターバル時間が1秒以上の場合のみ)

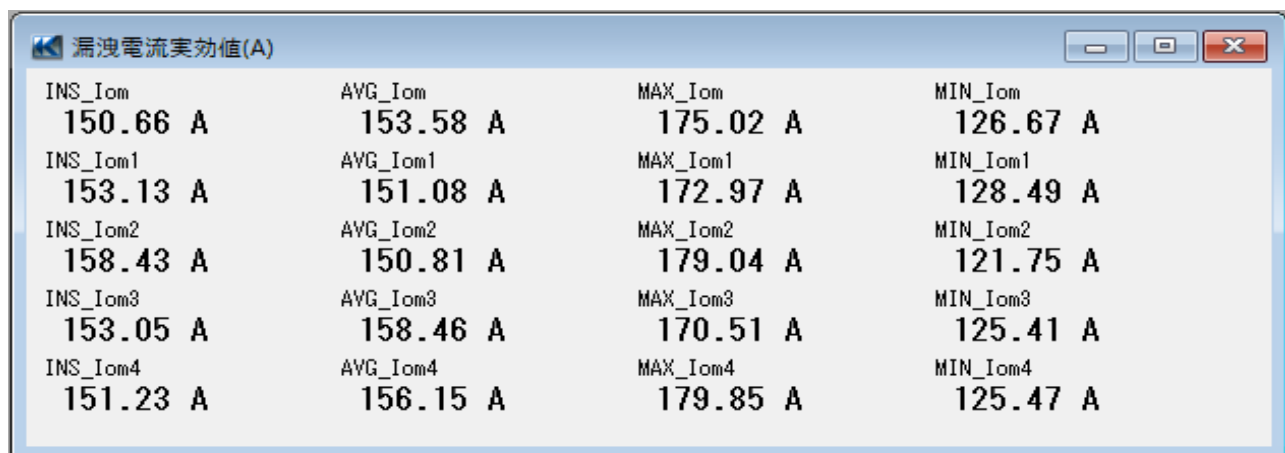


● …イベント開始
× …イベント終了

データを解析する(つづき)

3 カーソル値

カーソルの位置する時点の測定値を大きく表示します。
(漏洩電流位相角、イベント以外)



INS_Iom	AVG_Iom	MAX_Iom	MIN_Iom
150.66 A	153.58 A	175.02 A	126.67 A
INS_Iom1	AVG_Iom1	MAX_Iom1	MIN_Iom1
153.13 A	151.08 A	172.97 A	128.49 A
INS_Iom2	AVG_Iom2	MAX_Iom2	MIN_Iom2
158.43 A	150.81 A	179.04 A	121.75 A
INS_Iom3	AVG_Iom3	MAX_Iom3	MIN_Iom3
153.05 A	158.46 A	170.51 A	125.41 A
INS_Iom4	AVG_Iom4	MAX_Iom4	MIN_Iom4
151.23 A	156.15 A	179.85 A	125.47 A

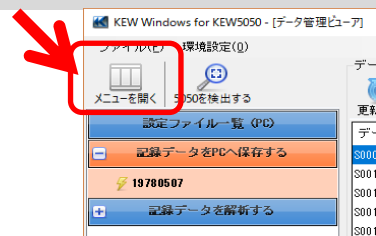
記録データをPCへ保存する

SDカード内の記録データを取り込む

STEP 1

メニューを開く

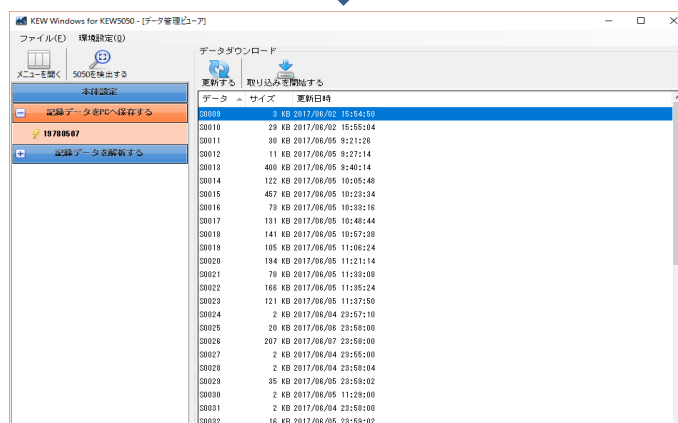
- 1 データ管理ビューアの[メニューを開く]をクリックする



STEP 2

SDカード内の記録データ一覧を表示する

- 1 [記録データをPCへ保存する]をクリックする

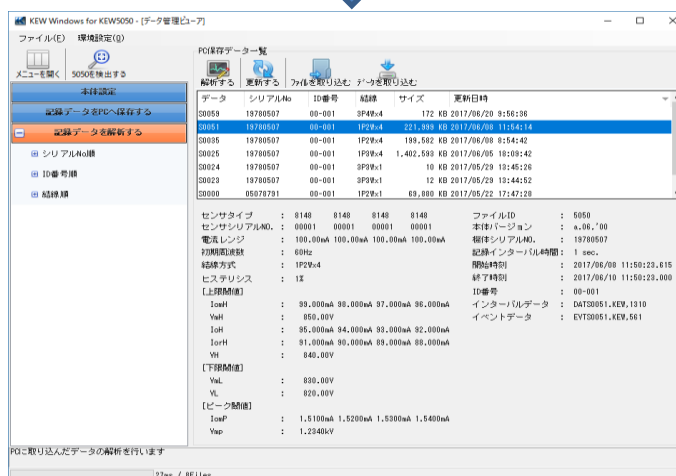
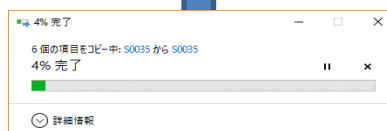
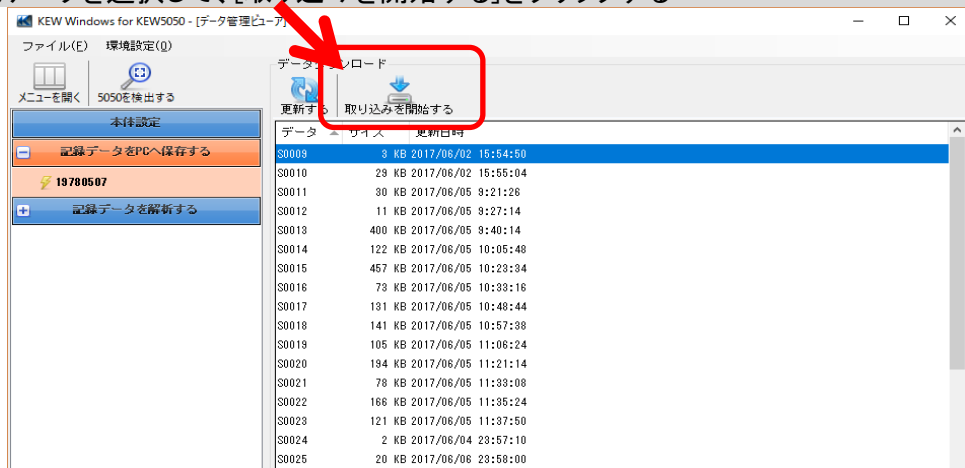


記録データをPCへ保存する(つづき)

STEP 3

記録データをPCへ保存する

- 1 保存対象となる記録データを選択して、[取り込みを開始する]をクリックする



記録データをPCへ保存する(つづき)

カードリーダーを使用して記録データを取り込む

STEP 1

KEW5050からSDカードを取り出す

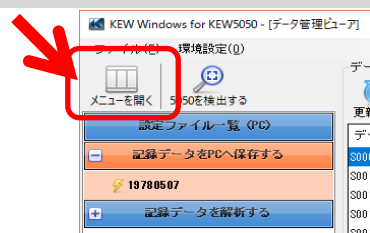
- 1 KEW5050からSDカードを取り出して、カードリーダーへ挿入する。



STEP 2

メニューを開く

- 1 データ管理ビューアの[メニューを開く]をクリックする

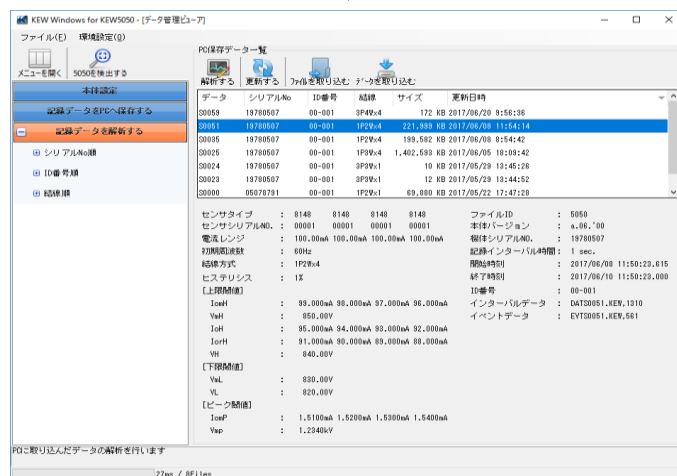


記録データをPCへ保存する(つづき)

STEP 3

PC保存データ一覧を表示する

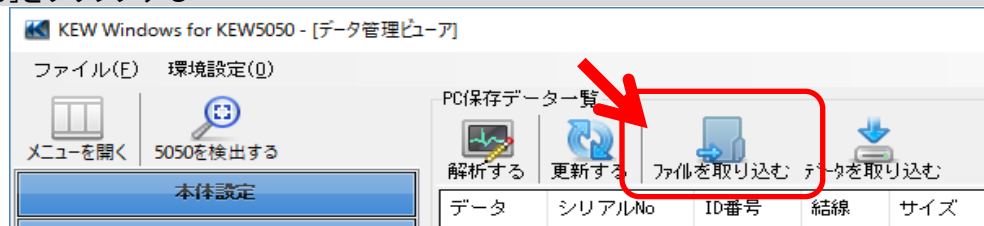
1 [記録データを解析する]をクリックする



STEP 4

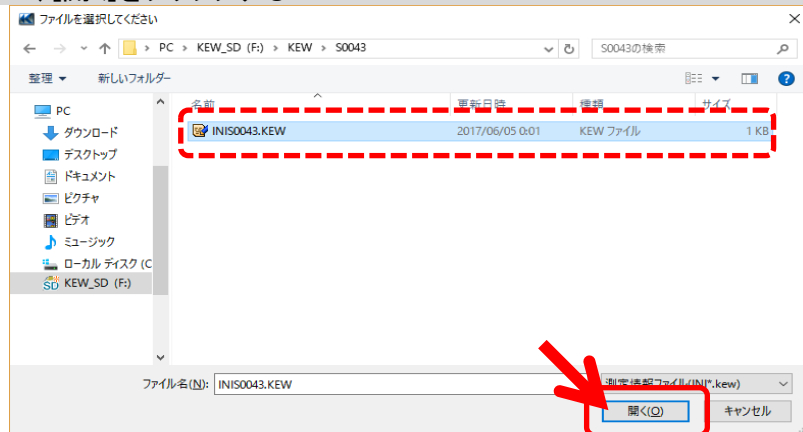
SDカードの記録データをインポートする

1 [ファイルを取り込む]をクリックする

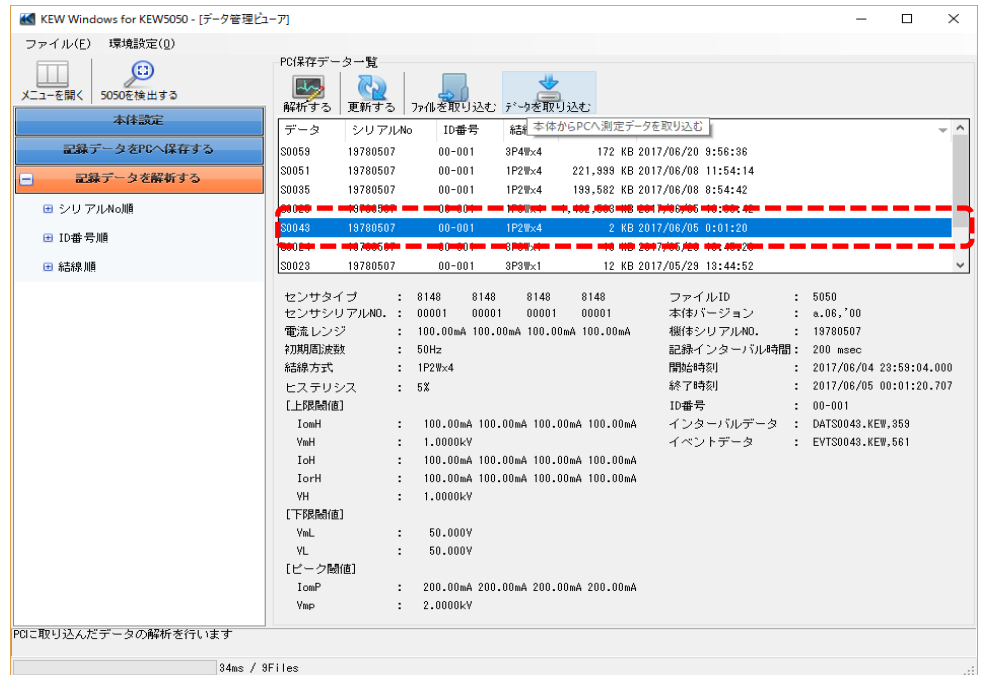


記録データをPCへ保存する(つづき)

2 測定情報ファイルを選択して、[開く]をクリックする



(例)KEW_SD(F:)¥KEW¥S0043¥INIS0043.KEW

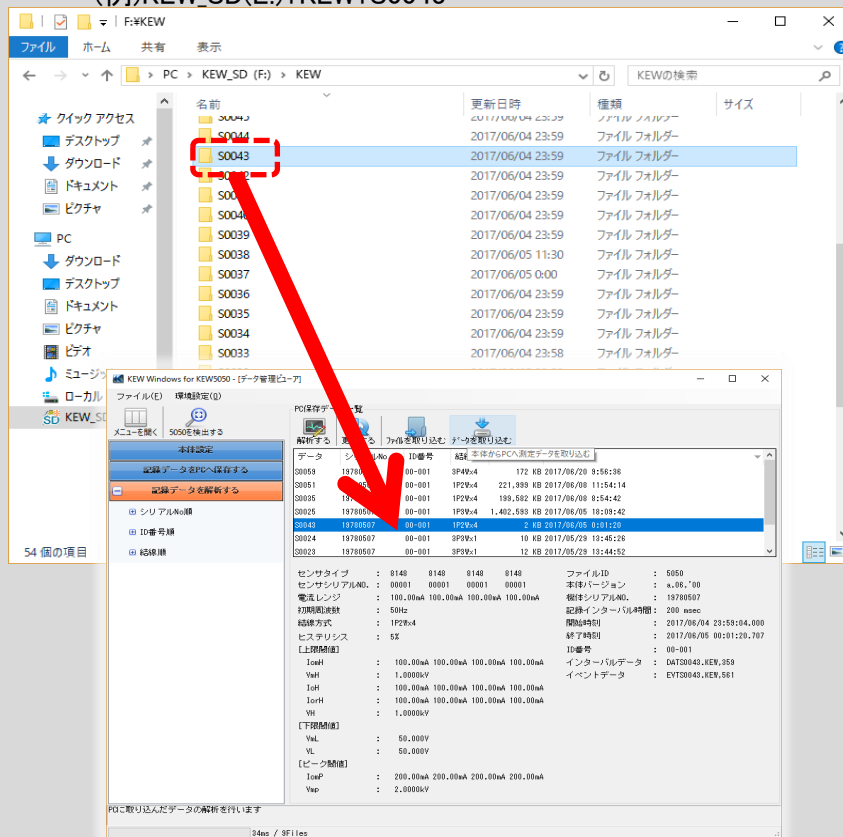


記録データをPCへ保存する(つづき)

※ドラッグ&ドロップによるインポート

直接、記録データのフォルダを[データ管理ビューア]上にドロップすることでPCへ取り込むことが可能です。

(例)KEW_SD(E:)¥KEW¥S0043



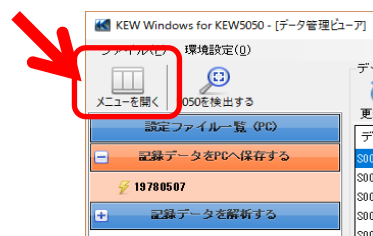
本体設定を行う

KEW5050設定データを作成する

STEP 1

メニューを開く

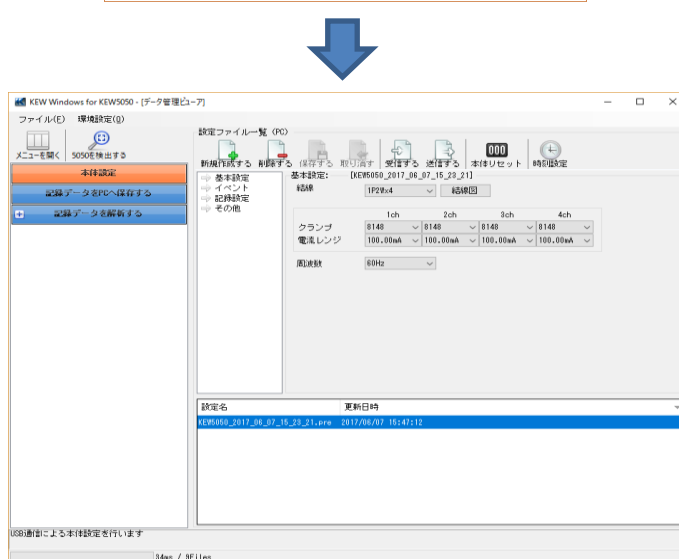
- 1 データ管理ビューアの[メニューを開く]をクリックする



STEP 2

本体設定を表示する

- 1 [同期測定・本体設定をする]をクリックする

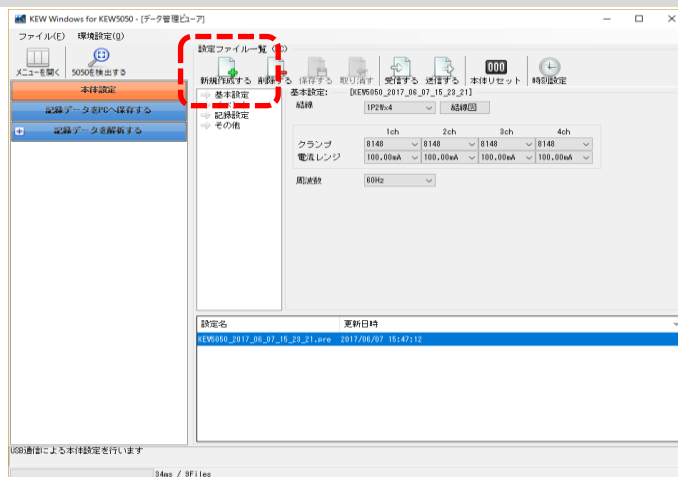


本体設定を行う(つづき)

STEP 2

新規に本体設定を作成する

- 1 [新規作成する]をクリックする

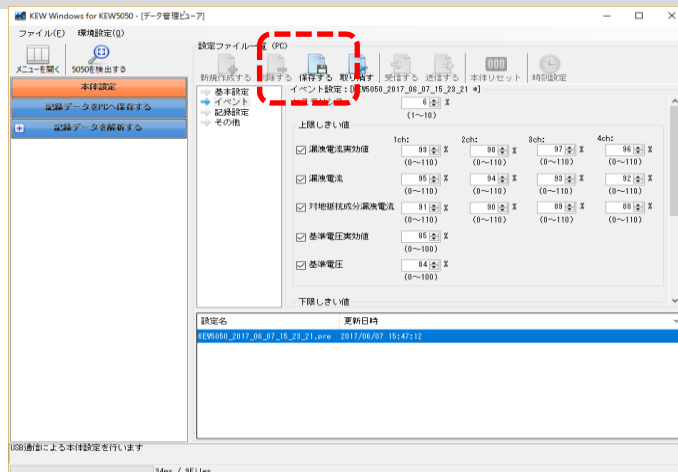


- 2 任意に本体設定を変更する
※本体設定の設定値はKEW5050本体の取扱説明書を参照ください。

STEP 3

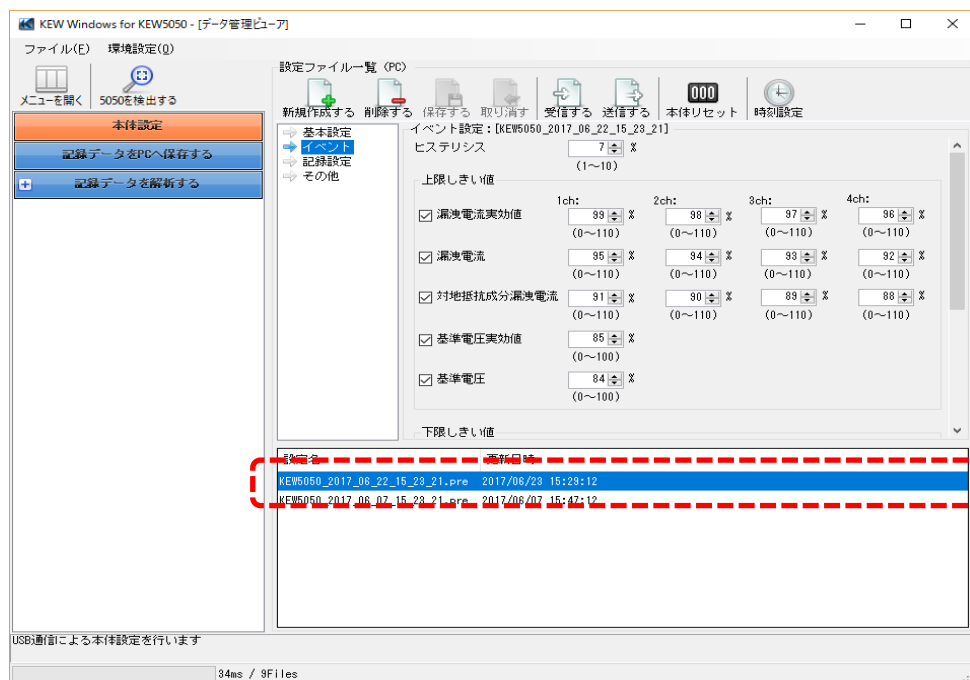
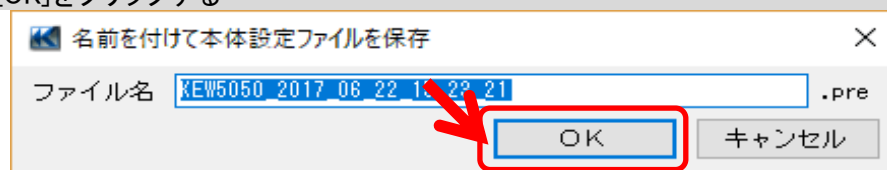
編集した本体設定を保存する

- 1 [保存する]をクリックする



本体設定を行う(つづき)

2 ファイル名を指定して、[OK]をクリックする



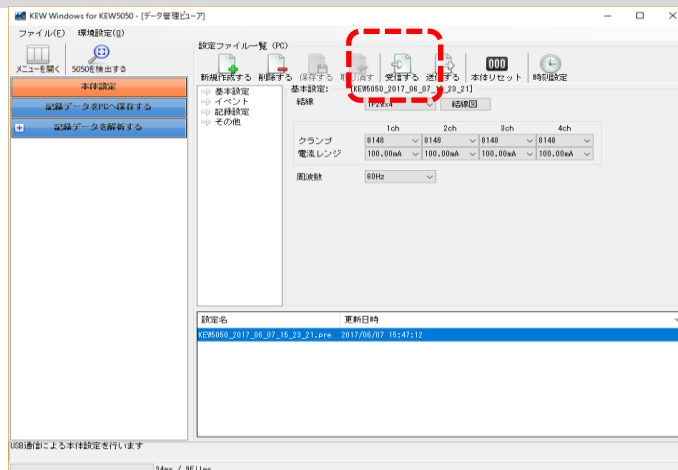
本体設定を行う(つづき)

KEW5050から設定データを読み出す

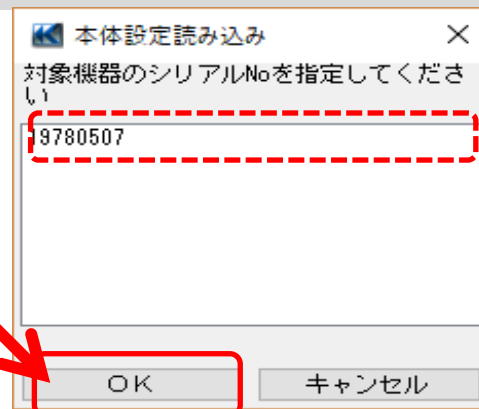
STEP 1

KEW5050から設定データを読み出す

1 [受信する]をクリックする



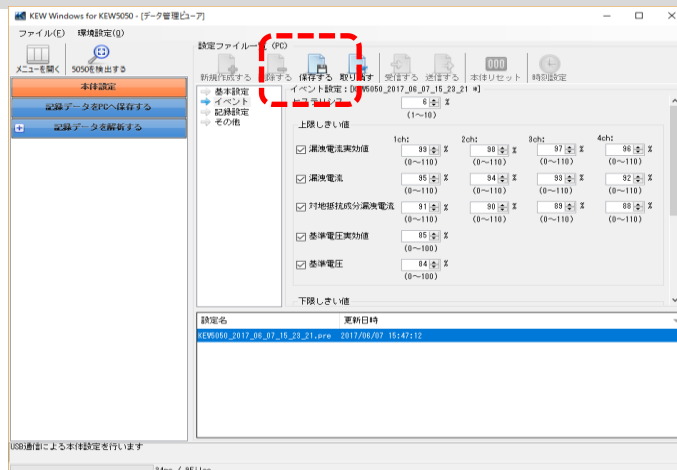
2 KEW5050のシリアルNo.を選択して、[OK]をクリックする



STEP 3

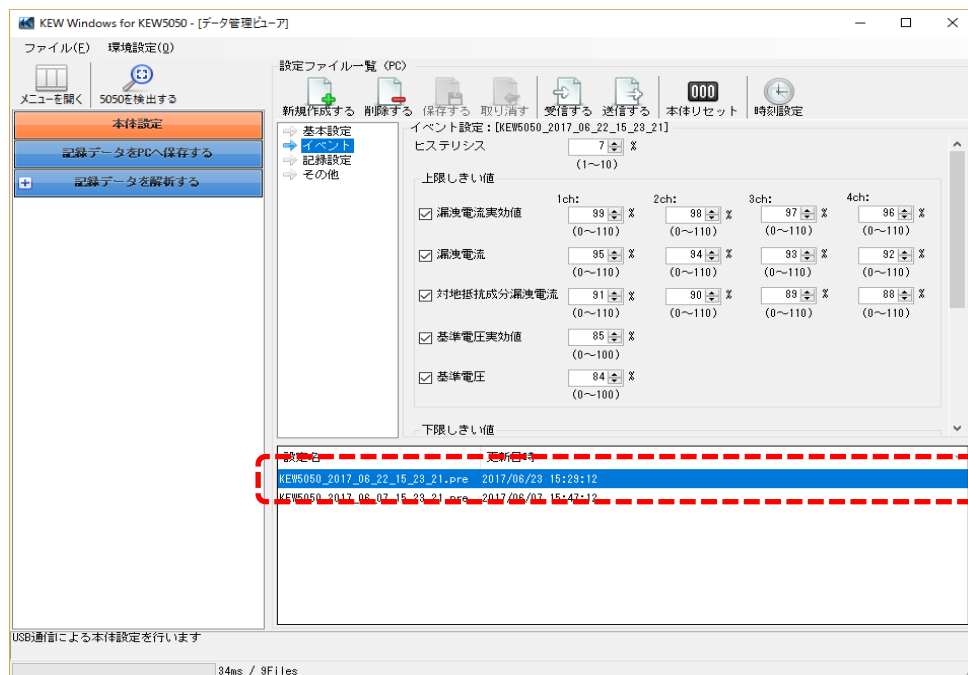
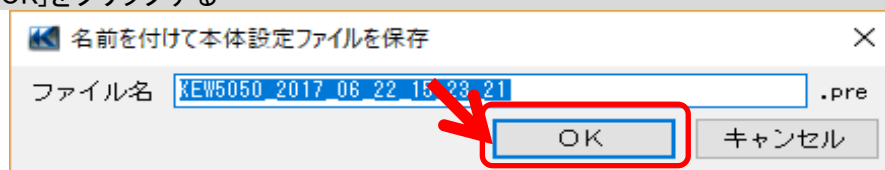
受信した本体設定を保存する

1 [保存する]をクリックする



本体設定を行う(つづき)

2 ファイル名を指定して、[OK]をクリックする



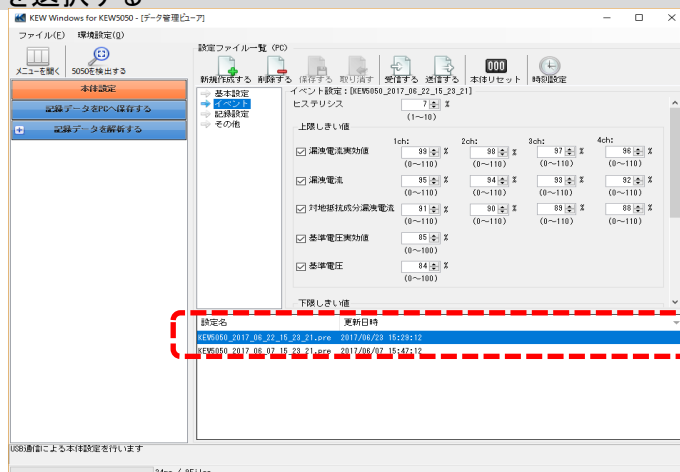
本体設定を行う(つづき)

KEW5050へ設定データを反映する

STEP 1

反映する設定データを選択する

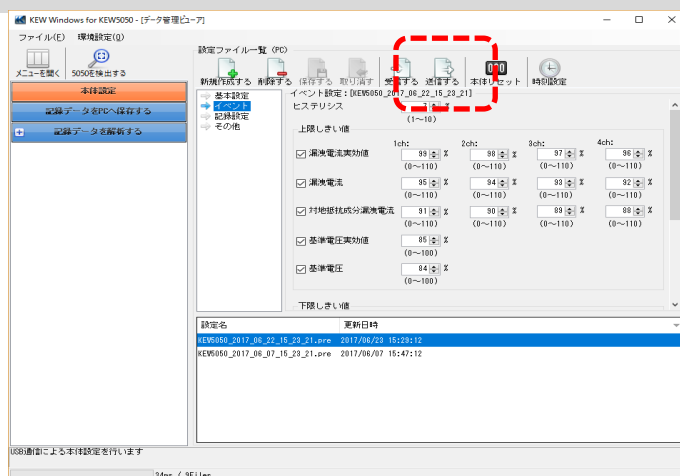
- 1 本体設定リストから反映する本体設定データを選択する



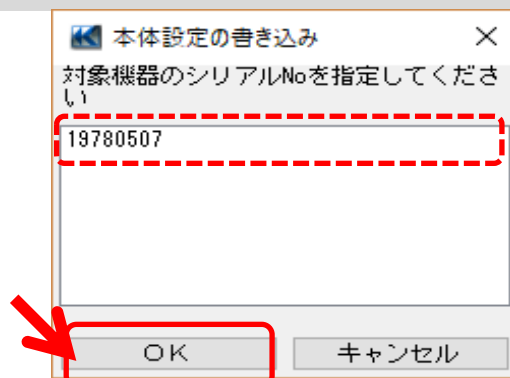
STEP 2

KEW5050へ設定データを反映する

- 1 [送信する]をクリックする



- 2 KEW5050のシリアルNo.を選択して、[OK]をクリックする



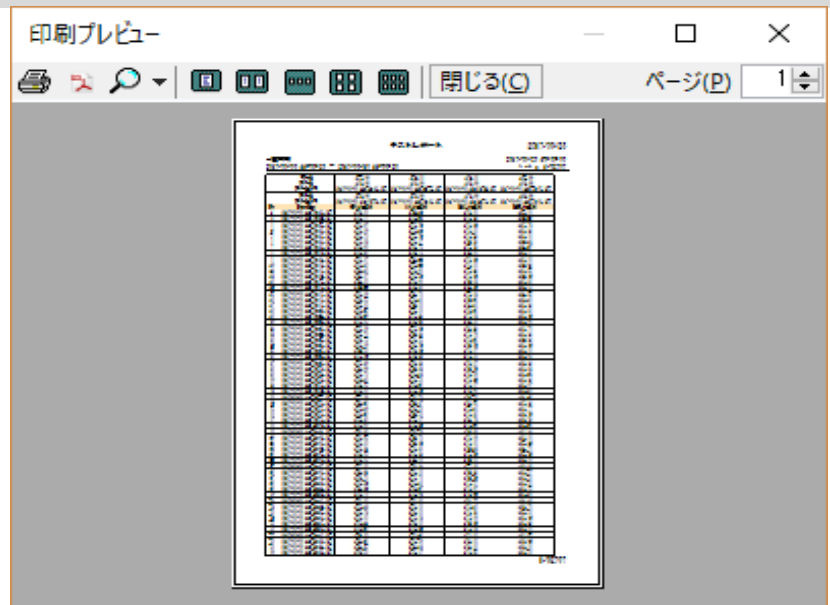
その他の機能

PDF形式で保存する

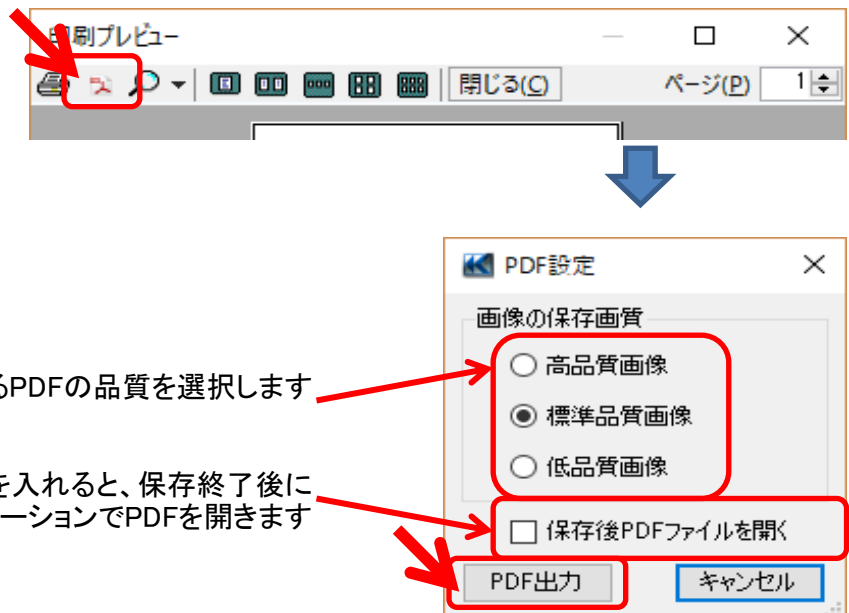
STEP 1

PDF出力ウィンドウを表示する

1 印刷プレビュー画面を表示する



2 PDF出力ボタンをクリックする



出力するPDFの品質を選択します

チェックを入れると、保存終了後に
関連付けられたアプリケーションでPDFを開きます

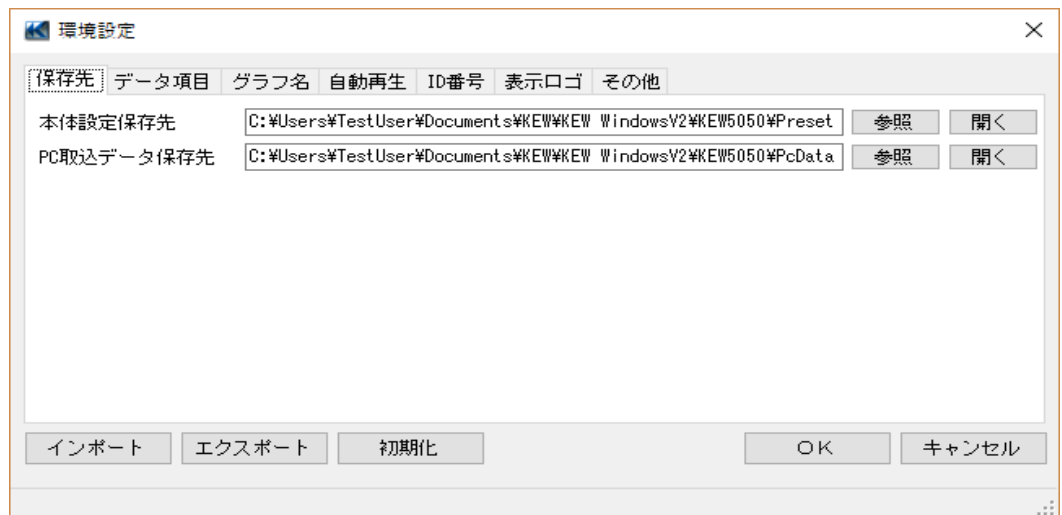
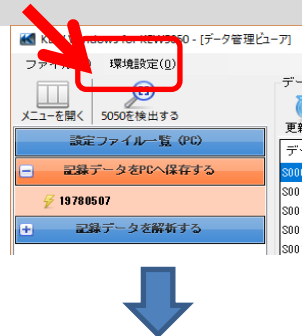
環境設定について

KEW Windows for KEW5050の動作設定を変更する

STEP 1

環境設定変更画面を表示する

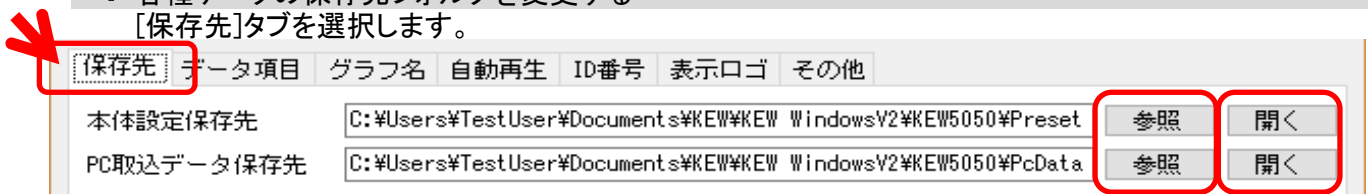
- 1 メニューバーの[環境設定]をクリックする



STEP 2

環境設定を変更する

- 1 各種データの保存先フォルダを変更する
[保存先]タブを選択します。

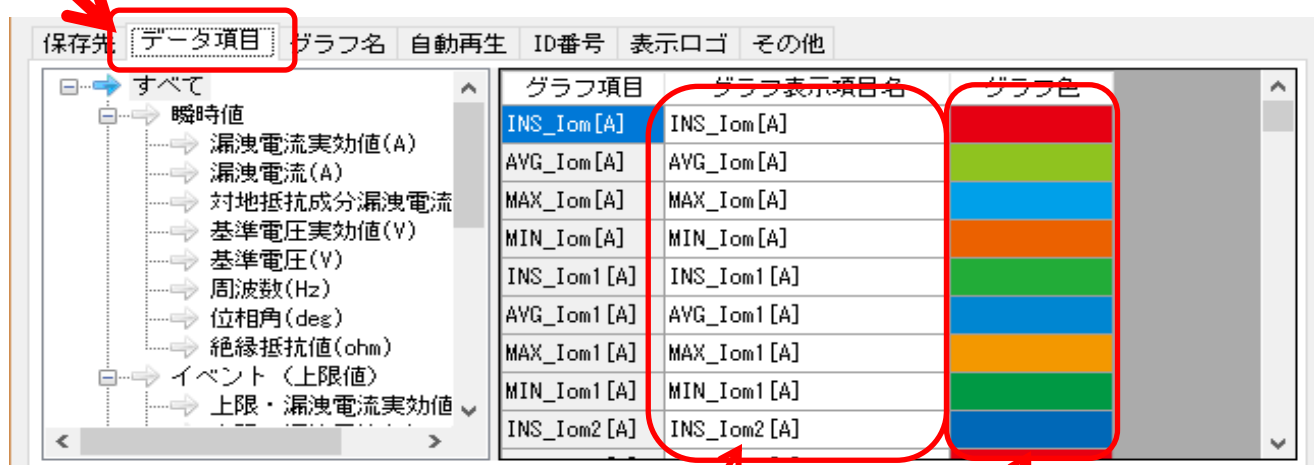


プリセット保存先 ...本体設定のプリセットデータの保存先
PC取込データ保存先 ...KEW5050からPCへ取り込む測定データの保存先

保存先フォルダを指定します。
エクスプローラで保存先フォルダを開きます。

環境設定について(つづき)

2 時系列ビューアのグラフ項目の表示を変更する [時系列-グラフ項目]タブを選択します。

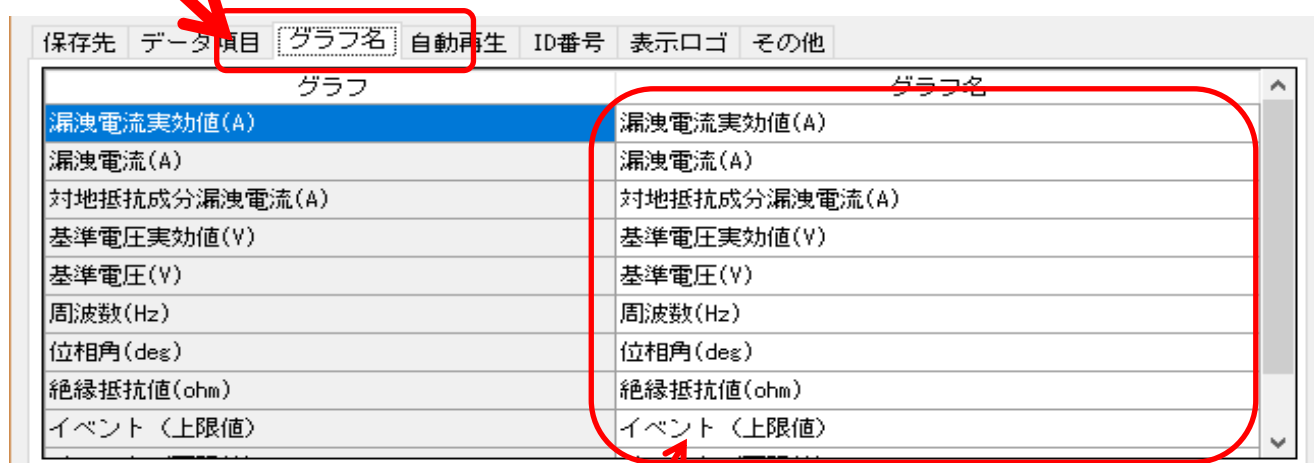


グラフ項目の表示名を編集します。

グラフ項目の表示色を編集します。

※解析中の時系列ビューアに反映するためには、時系列ビューアを開きなおす必要があります。

3 時系列ビューアのグラフ名を変更する [グラフ名]タブを選択します。

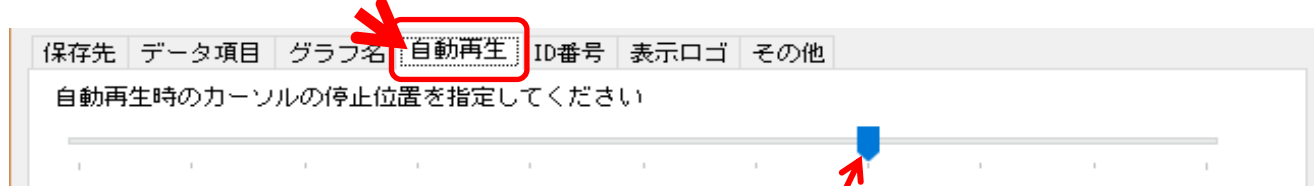


グラフ名を編集します。

※解析中の時系列ビューアに反映するためには、時系列ビューアを開きなおす必要があります。

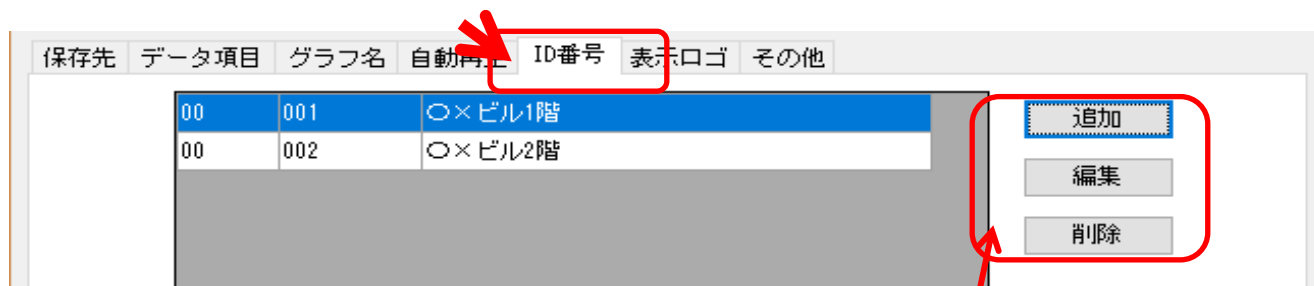
環境設定について(つづき)

4 自動再生の設定を変更する [自動再生]タブを選択します。

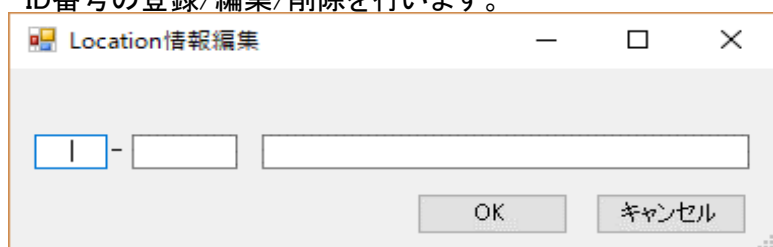


グラフをスクロールさせるときのカーソル位置を指定します。

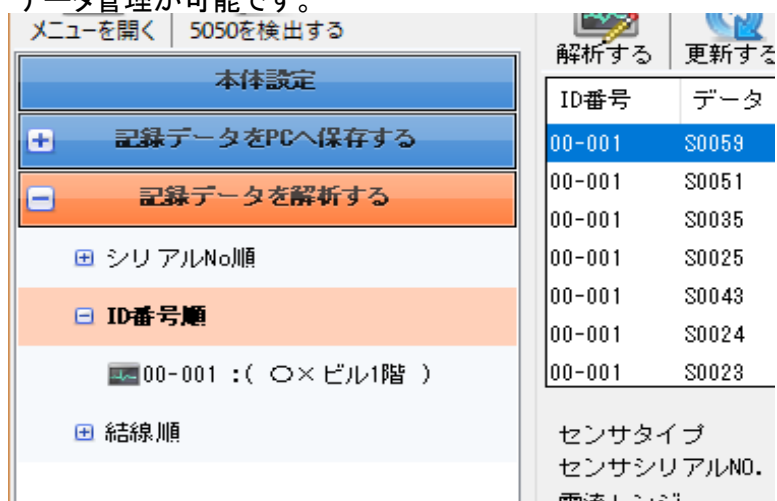
5 ID番号を登録する [ID番号]タブを選択します。



ID番号の登録/編集/削除を行います。



ID番号を登録することで、測定場所や環境の情報でのデータ管理が可能です。



環境設定について(つづき)

6 表示ロゴを登録する [表示ロゴ]タブを選択します。

保存先 データ項目 グラフ名 自動再生 ID番号 **表示ロゴ** その他

リスト/レポートの印刷時に出力するロゴを設定します

ヘッダ

フッタ

リストやレポートを印刷するときに出るロゴを設定します。
出力したいエリア(ヘッダ、フッタ)をクリックして、ロゴデータ(画像ファイル)を選択してください。
設定したロゴをクリックすると削除できます。

印刷イメージ

	テストレポート	2017/06/23
一覧印刷	2017/06/20 09:56:10 ~ 2017/06/20 09:56:37	2017/06/23 16:24:28
平均値	77.689m	77.687m
最大値	77.919m	77.894m
最大値時刻	2017/06/20 09:56:34.400	2017/06/20 09:56:26.000

7 その他の設定項目について [その他]タブを選択します。

保存先 データ項目 グラフ名 自動再生 ID番号 表示ロゴ **その他**

動作制御項目

リスト表示/リスト印刷数値形式 実数

数値表示桁数(符号/小数点除く) 5桁

リストに表示する数値の表示形式を変更します。
実数表示の場合は、表示桁数を指定します。

こまったとき

* USBでPCと接続している状態で、“再検出”を選択してもKEW WindowsV2のモデルの欄にKEW5050が表示されない

USBケーブルで接続している場合は、一度PCからUSBを外し再度挿してください。
挿しなおしたら、“再検出”を選択してください。

上記の操作を行っても症状が改善されない場合は、USBドライバが
正しく認識されていない可能性があります。下記手順でドライバを再インストールしてください。

付属のCDをパソコンに入れ、CDドライブ上で右クリックし一覧の中から「開く」を選択してください。
表示された画面の中に「DRIVER」フォルダがあります。DRIVERの中にあるkewusb***_setup.exeを
起動させてインストールを開始してください。
インストール手順はインストールマニュアルを参照してください。

* USB接続している状態でKEW Windows for KEW5050でKEW5050本体と通信ができない

USB接続している状態で、同期測定、ダウンロード、本体設定などの通信処理が行えない場合は、
“KEW5050を検出する”を選択してください。その後、一度PCからUSBを外し再度挿してください。
挿しなおしたら、“KEW5050を検出する”を選択してください。
“記録データをPCへ保存する”の下に接続しているシリアルNoが表示されていることを確認してください。

* ファイルのダウンロード時間について

ファイルサイズが大きいほどダウンロードにかかる時間も長くなります。
ファイルサイズが大きい場合は、SDカードリーダーなどを用いてPCにデータを取り込んでください。
USB転送速度 1.5GBの転送約40分